

有限要素法および粒子法による 工学シミュレーション： 材料応答評価から地盤災害の再現まで



講師

寺田賢二郎

東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授

2025. **10.14** [Tue]
15:00-16:00

オンライン開催(Zoom事前登録制)

材料の変形強度特性の評価や地盤災害の再現解析を目的とした、有限要素法(FEM)および粒子法の一つであるMaterial Point Method (MPM)による過去および最新の工学シミュレーションの事例をオムニバス的に紹介する。材料応答評価では、鉄鋼材料の冷間加工後の降伏強度予測を意図した均質化理論に基づくマルチスケール解析、フェーズフィールドき裂モデルによるき裂進展解析を、地盤災害の再現解析ではMPMによる地震起因の斜面崩壊解析などを、理論や技術的な説明を最小限に抑えつつも、活用型マテリアル 研究開発プロジェクト (DxMT)への応用も視野に入れながら例示する。

開催方法：Zoomを利用したオンライン形式による開催

※ご参加には事前登録が必要です。

右のQRコードもしくは下記のリンクからご登録下さい。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ccxzxzmgQpmuolTNO34jQQ

